

令和7年(2025)

2/15_土

13:00～16:00 [終了予定]

会場:大阪大学 箕面キャンパス 1階大講義室
(大阪府箕面市船場東3-5-10)

〈交通アクセス〉 ※バスでお越しの際は、時刻表をご確認ください。

- ・北大阪急行 箕面船場阪大前駅下車 徒歩約3分
- ・阪急バス 箕面小野原線(小野原東～呉羽の里)船場団地 徒歩約1分
箕面中央線(阪急石橋北口～千里中央)箕面船場阪大前駅 徒歩約3分
豊中市内線(阪急豊中駅～千里中央)新船場南橋 徒歩約7分

講演

作家 澤田 瞳子
「歴史小説の可能性」



撮影/富本真之

申込方法

[会場参加方法]

下のQRコードよりお申し込みください(事前申込)。

申込後、自動返信メールで受付番号が届きます。

[申込締切] 1月28日(火)

[定員] 200名(抽選)

[抽選結果の期日] 1月30日(木) 予定

[URL] <https://forms.office.com/r/CLDMvfGZxJ?origin=lprLink>

アーカイブ動画視聴方法

右のQRコードよりお申し込みください(事前申込)。

イベント終了後に期間限定で公開いたします。

[URL] <https://forms.office.com/r/CLDMvfGZxJ?origin=lprLink>



テーマ

心にうつろうもの、歴史にうつろうもの

司馬遼太郎記念学術講演会

令和6年度 大阪大学

お問合せ先

大阪大学共創推進部社会連携課地域連携係 TEL: 06-6879-4763(平日9時～17時)
Email: kyousou-syakai-renkei@office.osaka-u.ac.jp
※最新情報は大阪大学公式HPで順次公開予定です。 <https://www.osaka-u.ac.jp/ja/event>

PROGRAM

＜プログラム＞

総合司会：小川 真由（アナウンサー）

13:00 開演・主催者挨拶

大阪大学総長 西尾 章治郎

13:15頃

短編映像コンテスト「阪大生、街道をゆく」

参加者のみなさまに阪大生が作成した映像をご覧いただき、投票により優勝・準優勝を決定します。



短編映像コンテスト「阪大生、街道をゆく」とは

司馬遼太郎が『街道をゆく』で描いた道はもとより、自らの生活する場に連なる道、自らの慣れ親しんだ道、あるいは未知の場へ自らを誘う道などについて、YouTubeやTikTokなどの映像配信プラットフォームに慣れた学生の視点から「スナップ」された姿を、スマートフォンなどで撮影・編集された上限3分以内の短編ビデオクリップを通して公開します。

14:00頃 講演

作家 澤田 瞳子

「歴史小説の可能性」

14:45頃 講演者との対談

対談者 澤田 瞳子 × 門脇 むつみ
(作家) (大阪大学人文学研究科 教授)

ファシリテーター 古谷 大輔 (同研究科 教授)

16:00頃 終演

PROFILE

＜出演者プロフィール＞



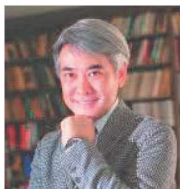
澤田 瞳子（さわだとうこ）

1977年、京都府生まれ。同志社大学文学部卒業、同大学院博士前期課程修了。同志社大学客員教授。奈良仏教史を専門に研究したのち、2010年に長編作品『孤鷹の天』でデビューし、中山義秀文学賞を受賞。その後、2013年『満つる月の如し 仏師・定朝』で新田次郎文学賞、2016年『若冲』で親鸞賞、2020年『駆け入りの寺』で舟橋聖一文学賞、2021年『星落ちて、なお』で直木賞をそれぞれ受賞している。古代から近代まで幅広い時代の人間模様を精力的に描き続けている。



門脇 むつみ（かどわきむつみ）

1970年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科単位取得満期退学。博士（文学）。2019年4月大阪大学文学研究科芸術学専攻准教授、2023年11月より同人文科学研究科芸術学専攻教授。中近世絵画を専門とし、狩野探幽、俵屋宗達、伊藤若冲らの画家、また天皇など貴顕の嗜みとしての絵画、肖像画、禅宗美術、画賛（画とともに記される詩文）などをテーマに、美術作品と人間や当時の社会との魅力的な関わりをより確かに捉えるため精力的に研究に取り組んでいる。



古谷 大輔（ふるや だいすけ）

1971年、茨城県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了、大阪大学大学院人文学研究科外国学専攻教授。スウェーデン語圏を中心に近世・近代のヨーロッパにおける国家形成の歴史を研究している。